

公表

事業所における自己評価結果 児発

事業所名		放課後等デイサービスLiebeしるやま				公表日	2026年 3月 13日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。		4	活動や遊びに合わせて机を移動させる等で空間を区切って、児童が十分に遊べる環境づくりに努めています。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4		人員基準を満たすよう配置し、利用人数や活動内容に応じて人数の調整を行っています。	引き続き適切な人員配置を行い、安全な支援体制を維持していきます。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4		手洗いの仕方や風の注意喚起、送迎の車や今日の日付を掲示するなど、視覚的目掛かりを提示して情報伝達を行っています。	完全なるバリアフリーではないが、今後必要に応じて検討していく。段差等は少しでも危険が減るよう最善を常に検討していきます。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4		毎日の清掃消毒、玩具の消毒、換気扇の活用等により、清潔な環境を維持しています。	今後も少しでも心地よく過ごせる空間になるよう環境調整を行っています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4		学習、静かに落ち着いて遊びたい、クールダウン等に合わせた個別の部屋が使えるよう学習部屋を設置しています。	その時に使う子供に合わせて変化させていけるような空間調整に努めています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4		月に1度行われる店舗内会議や、毎日の朝礼夕礼で業務改善について話し合い、改善に努めています。	会議だけでなく日頃の会話や情報共有を増やし、効率化を上げることでより業務改善を図れるよう努めています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		年に1回の保護者アンケートを実施し、頂いた意見を支援や環境設定に活かしています。	全職員で把握を行い、頂いたご意見をもとに各項目についての検討を続けていきます。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		朝礼夕礼や店舗内会議を通して、定期的に職員間で意見交換をし、業務改善に繋げています。	LINEWORKS等のツールの活用も増やしていき、より業務改善・効率化向上に繋げていきます。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		4		必要に応じて評価機関にて第三者による外部評価を行い、業務改善に繋げていきます。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4		外部研修とeラーニングを用いて、研修を行っています。	研修機会を増やしていくことや研修内容を全職員への共有等を検討していき、職員の資質向上に努めています。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4		支援プログラムを作成、公表を行っております。	5領域に応じてより良い支援を提供できるようプログラム内容の検討は継続して行っています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	4		適切なアセスメントを行い、支援計画に取り入れながら、作成しています。	より適切なアセスメントが行えるよう、日頃からお子様や保護者様との信頼関係構築にも努めています。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4		担当者会議や店舗内会議の中で情報共有を行い、全職員で共通理解をもち様々な視点で検討できるよう努めています。	より最善な利益を考慮していけるよう会議や話し合いを活性化させていきたいと思います。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4		児童発達支援計画を職員間で共有し、統一した支援を目指しております。	定期的に児童発達支援計画を見直す機会を設け、より計画に沿った支援を提供できるよう努めています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4		保護者様が得た検査結果等は適宜共有をしていただき、アセスメントに取り入れております。	簡単な検査等を事業所でも行い、事業所での行動観察も増やしていけるよう努めています。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4		ご家族様からアセスメントした内容を支援計画に反映させ、目標を設定しております。また、必要に応じて内容の見直しも行っております。	モニタリング期に合わせて見直しを行い、より具体的な支援内容を検討できるようにしていきます。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4		活動内容や気になる活動など適宜話し合いを行い、プログラムに反映させ毎月立案を行っています。	よりチームで行えるよう話し合いの機会を増やしていきます。	

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	お子様の意見を取り入れたり、SNS等での情報収集を心がけプログラムを固定化させないように工夫しています。	今後も他店舗と意見交換を行う等、情報収集の場を増やし固定化しないよう努めていきます。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	4	個別活動と集団活動を、児童の状況やその日の様子等に合わせて計画・支援を行っています。	よりお子様の状況に合わせた支援が行えるようプログラムの立案や職員の数等を検討してまいります。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	毎日の朝礼で、一日の流れと活動の内容、役割分担等の話し合いを行っています。	チーム連携の向上を図れるよう、話し合いの効率化や検討内容の深さ等を向上させてまいります。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	支援上の気づきや一日の振り返り等の情報共有のために夕礼を行っています。休みの職員に対しても次出勤時に共有を行っています。	ツールを用いてより正確に情報共有を行えるようにしていきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	HUGシステム等を活用し、お子さまの様子を詳細に記録して支援の検証に役立てています。	記録を参考に話し合いの機会を増やし、支援の検証・改善の質を向上させてまいります。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	全スタッフで定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しを行っています。	モニタリング期だけでなく日頃から話し合いを行い、より適切に見直しの必要性を判断できるようにしていきます。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	必要に応じて、対象のお子様の状況をよく把握した職員が参加しています。	受け身だけでなく積極的に開催・参加できるよう努めてまいります。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	保育、教育と協力して支援を行う体制を整えています。	地域の保健、医療等との連携も強化してまいります。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	並行利用先や幼稚園等と送迎時等に情報共有を行い、相互理解を図っています。	今後もより適切に情報共有が行えるよう信頼関係の構築を行っています。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	小学校等への情報提供を行うなどスムーズな就学移行をサポートしています。	必要に応じてより深く適切に情報共有を行えるよう資料等の準備を行っています。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。			
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。			
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加しているか。			
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	4		積極的に連携機会を設け、専門的なスーパーバイズの導入を検討します。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	4		今後他のお子様と交流できる機会を設けていきます。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4	連絡帳や送迎時にお子様の情報共有を行い、共通理解を持てるよう努めています。	今後もより適切に共通理解を持てるようこまめに情報共有を行っています。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4		口頭での助言や情報提供は行っているが、体系的なプログラムとしては実施していないため、今後検討を行い体制を整えてまいります。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	契約の際に契約書等書類に沿って丁寧な説明を心がけています。	より丁寧に分かりやすく伝えられるよう見直しを行っています。
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	日頃からの聞き取りや面談等を行いお子様や保護者様の意向を確認する機会を設けています。	より適切に意向を確認できるよう話し合いや面談等を行いやすい体制を強化してまいります。	

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	4		個別支援計画の内容を保護者様に説明し、同意を得た上で支援を行っています。	より丁寧に分かりやすく説明が行えるよう努めています。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4		送迎時の相談のみに限らず、ご希望に応じてLINEや電話、面談の機会を設けるよう努めています。	より相談しやすいような環境調整を行っています。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4		会社全体でのイベントに参加を行い交流の機会を設けています。	事業所での交流の場を設けられるよう検討し実行していきます。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4		相談をいただいた場合、全職員で共有相談を行い、出来る限りご要望に対応できるよう心掛けています。	より迅速に適切に対応できるよう対応や情報共有方法等の見直しを行い、強化に努めています。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4		HUGやLINEを通して活動概要等やSNE等で事業所での様子等の情報の発信を行っています。	分かりやすく発信を行えるよう内容や用いるツールの検討を行っています。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4		写真掲載の同意取得、記録のシュレッダー処理、デジタルデータのパスワード管理、鍵付き書庫での保管等を徹底しています。	個人情報の取り扱いの見直し、確認を再度行い取り扱いに留意していきます。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4		絵カード等の視覚的ツールや、必要に応じた伝達方法の工夫により配慮しています。	お子様の成長や特性に合わせて、より適切な意思疎通や情報伝達が行えるよう配慮を継続していきます。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4			イベント等で地域住民と交流を持てる機会を設けられるよう検討していきます。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4		事故・防犯・感染症等のマニュアルを完備し、HUG等で職員・保護者に周知しています。	マニュアル等だけでなく訓練の機会も増やしていけるよう努めています。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4		BCPの策定を行い、必要に応じて職員間で確認を行い非常災害に備えるよう努めています。	定期的な確認に加え、訓練の機会も増やしていき非常時に適切に対応できるよう努めています。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4		契約時には必ず保護者様に確認を行い、変更があればご連絡いただくようお願いしています。	事業所側からも聞き取りを行えるよう努めています。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4		契約時に必ず聞き取りを行い、医師の指示書がある場合、それに基づいた対応を行っています。	漏れがないようアレルギーがある児童の確認を継続して行っています。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4		安全計画を作成した上で、施設内の安全点検を日々実施し、安全管理に基づいた適切な支援を行っています。	定期的に安全計画の見直しを行っています。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4		契約時等に安全計画の内容を共有し、保護者様との連携を図っています。	計画の内容を改めて発信し、より安心感を持って頂けるよう努めます。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4		日頃から共有を行うことや月に一回事例の振り返りの場を設け、再発防止に向け方策の検討をしています。	自店舗内だけでなく外部からの意見も取り入れられるよう共有の場の検討を行っています。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4		虐待防止研修の実施やセルフチェックを通じ、適切な対応を徹底しています。	より適切な対応ができるようチェックリストの見直しや研修の機会を増やす等を検討していきます。
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4		身体拘束廃止指針に基づき、原則行わない方針を周知し、やむを得ない場合は事前に得た同意書に基づき適切な対応を行い記録を取るようになっています。	拘束を必要としないようクールダウン部屋等の使用を促していく等の対応を行うよう職員間で再度共有を行います。	